

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許出願公告番号

特公平7-95346

(24) (44) 公告日 平成7年(1995)10月11日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 T 9/20 11/40		7459-5L 9365-5L	G 0 6 F 15/ 70 15/ 72	3 3 5 Z 4 0 0

請求項の数1(全 11 頁)

(21) 出願番号	特願昭63-42750	(71) 出願人	999999999 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号
(22) 出願日	昭和63年(1988)2月24日	(72) 発明者	小口 哲司 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
(65) 公開番号	特開昭64-1075	(72) 発明者	大内 光郎 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
(43) 公開日	昭和64年(1989)1月5日	(74) 代理人	弁理士 京本 直樹 (外3名)
(31) 優先権主張番号	特願昭62-44840	審査官	平井 誠
(32) 優先日	昭62(1987)2月27日	(56) 参考文献	特開 昭60-147883 (J P, A) 特開 昭58-191064 (J P, A)
(33) 優先権主張国	日本 (J P)		

(54) 【発明の名称】 画像処理装置

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】表示メモリに格納された表示データをNビット単位で読み出し各ビットのデータを検出して図形の境界を検索する画像処理装置において、境界検索の開始点のデータに応じてMビット ($0 \leq M \leq N - 1$) のマスク情報を発生するマスク情報発生回路と、前記表示メモリから読みだされたNビットの表示データのうち前記マスク情報に応じて所定ビットを非マスクデータとして出力するマスクゲート手段と、検索情報に応じて前記非マスクデータの低位ビットからデータ“1”の検索を行うか、前記非マスクデータの上位ビットからデータ“1”の検索を行うか、前記非マスクデータの低位ビットからデータ“0”の検索を行うかまたは前記非マスクデータの上位ビットからデータ“0”の検索を行うかの検索方法を選択し選択された検索方法に従って境界点位置情報を発生

2

する位置情報発生回路とを有することを特徴とする画像処理装置。

【発明の詳細な説明】

〔産業上の利用分野〕

本発明は表示メモリを管理し図形を描画する画像処理装置に関し、特にそのような処理装置に設けられて図形の境界を検索する境界検索回路に関する。

〔従来の技術〕

画像処理装置の機能の一つに閉ループによって規定された図形の内部又は外部を任意の模様で塗りつぶす機能がある。そのためには、その図形の境界を検索する必要がある。ディスプレイの表示画面の1ドットは表示メモリの1ビットにそれぞれ対応しているため、表示メモリの内容を1ワード単位で読み出し各ワードにおける各ビットのデータを検出して図形の境界を検索している。